

調査レポート

事業承継に関するアンケート調査

調査概要

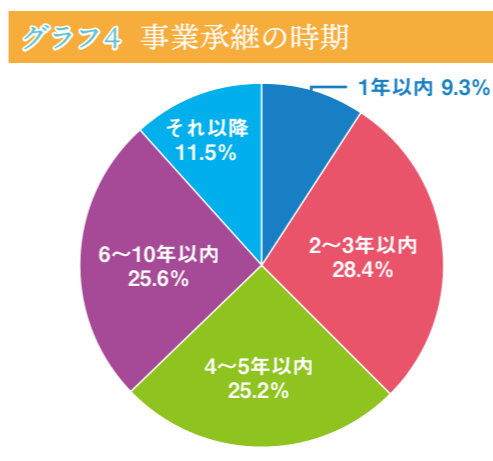
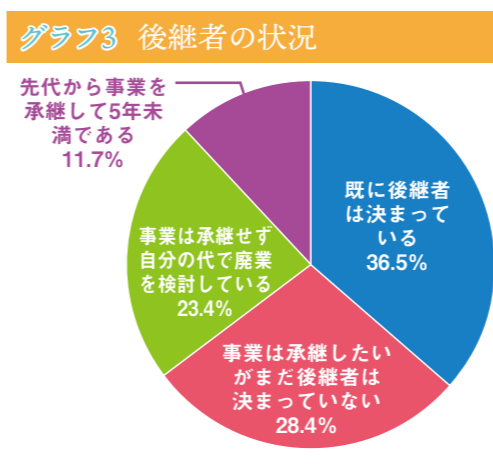
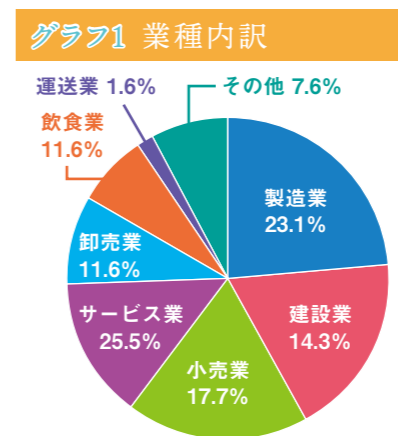
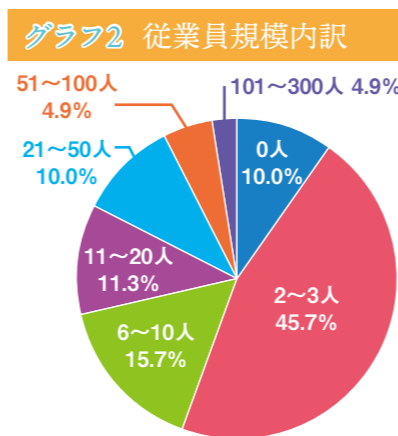
- 期間 令和5年7月3日(月)～20日(木)
- 調査方法 郵送およびウェブフォームからの回答受付
- 調査対象 福井県内商工会議所会員企業660社
- 回収数 1658社(25・1%)

後継者の状況

後継者の状況について尋ねたところ、「既に後継者が決まっている」との回答は36・5%、「事業は承継したいがまだ後継者は決まっていない」は28・4%、「自分の代で廃業を検討している」は23・4%だった。個人と法人の比較では、個人事業主で「自分の代で廃業を検討している」との回答が50・0%であり、法人の13・4%と比較して多い。業種別では、飲食業で「まだ後継者が決まっていない」「自分の代で廃業を検討している」との回答が約7割となり、事業承継に苦戦している様子が伺える。

後継者が決まっている企業の状況

既に後継者が決まっている企業に対し、事業承継の時期を尋ねたところ「2～3年以内」との回答が最も多く28・4%、「1年以内」が4%、「4～5年以内」を含まれると約6割の企業で5年以内の事業承継を予定していることがわかる。事業承継に向けた課題では、「後継者の育成が十分ではない」との回答が43・3%と最も多く、「借入金・経営保証などの引継ぎ」が18・0%、「事業承継に関する知識や理解が十分ではない」が17・6%と続いた。



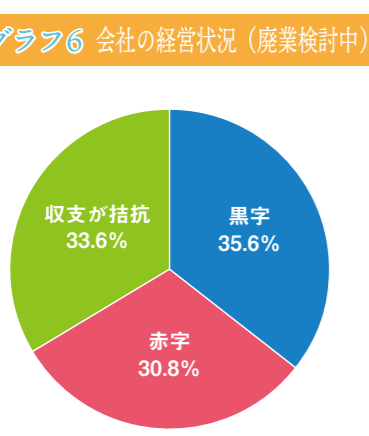
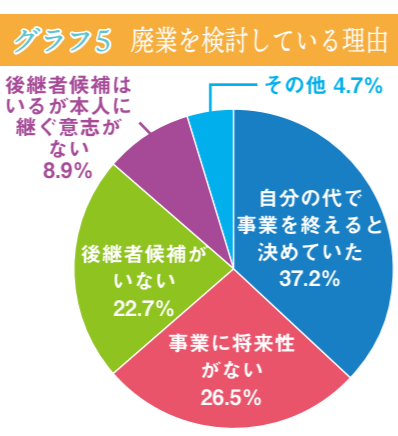
後継者が決まっている理由を尋ね

たところ、「自分がまだ経営を続けるため後継者を決める必要がない」との回答が34・1%と最も多く、「後継者候補がない」が25・6%、「事業の将来性に不安がある」が13・2%と続いた。

現在の会社の経営状況については「黒字」60・0%、「赤字」17・9%だった。事業承継に向けた課題は、「後継者候補がない」との回答が37・4%と最も多く、「事業の改善や育成ができていない」が23・7%、「借入金・経営保証などがある」が19・1%と続く。

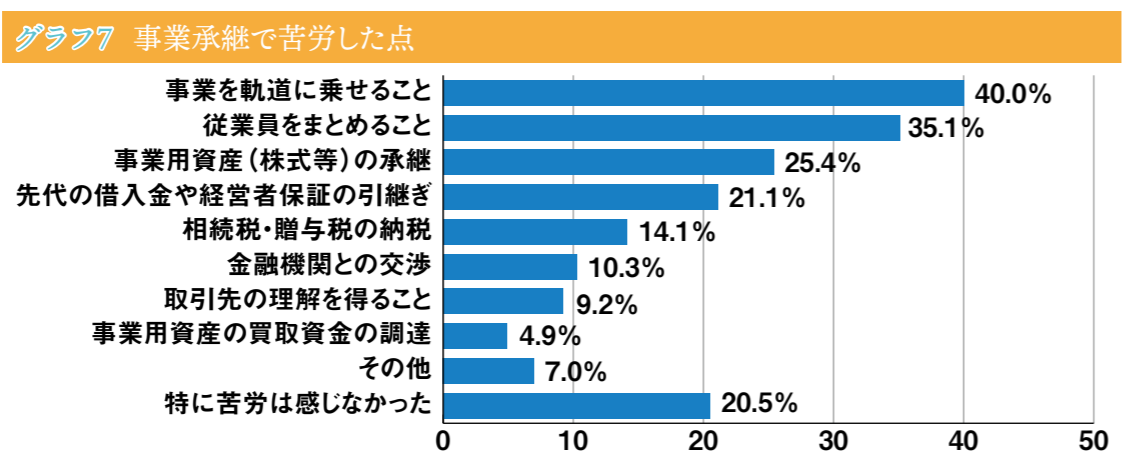
廃業を検討している企業の状況

廃業の理由を尋ねたところ「自分の代で事業を終えたい」との回答が最も多く37・2%、「事業に将来性がない」が26・5%、「後継者候補がない」が22・7%と続く。また、会社の経営状況については、「黒字」が35・6%、「赤字」が30・8%であった。



事業承継後5年未満の企業の状況

事業承継で苦労したことについては「事業を軌道に乗せること」との回答が最も多く40・0%、「従業員をまとめること」が35・1%、「事業用資産(株式等)の承継」が25・4%と続いた。事業承継後に行った活動については、「設備導入・更新」と「従業員の新規雇用」がいずれも37・1%と最も多く、その後の経営状況については、「改善した」が29・4%であり、「悪化した」9・1%を大きく上回っている。事業承継をきっかけとして、新しい経営者は、様々な苦労をしていることが伺える一方で、積極的な設備更新や従業員の雇用を行うことで、経営状況の改善へ努力している様子が伺える。



お問合せ先
福井商工会議所 創業・経営支援課
0776(33)8283